



国臨協関信

HP アドレス : <https://kanshinshibu.org>

関信支部ニュース第 229 号 令和 4 年 8 月

- 事務局 / 〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1
国立国際医療研究センター病院
中央検査部門内
- 発行者 / 吉田 茂久
- 編集委員 / 齋藤広樹 竹内智也 鷹取有紀
渡辺順也 飯田伊織
- 印刷所 / 一喜堂印刷株式会社 ☎0268-35-2624

未来への の跳躍

— 過去から学び未来へつなぐ —

第50回 国臨協関信支部記念学会

開催期間 : 2022年9月3日(土)

- ・ログイン開始 8:30 ~
- ・開会式
(オープニングセレモニー) 8:45 ~



学 会 長 : 吉田 茂久
(国立病院機構 横浜医療センター)



お問い合わせ

国臨協関信支部 事務局

〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1

国立国際医療研究センター病院中央検査部門内

E-mail: kanshin@kanshinshibu.org

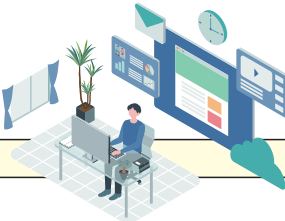
第50回国臨協関信支部記念学会日程表

ライブ配信

2022年9月3日(土) ログイン開始8:30～

※ EventInへのログインは Chromeブラウザの利用を推奨します。

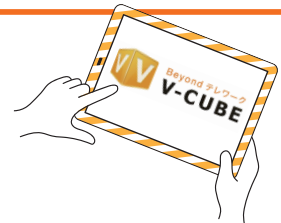
8 : 30	《ログイン開始》(8 : 30 ～ 8 : 45)		
9 : 00	《オープニングセレモニー》(8 : 45 ～ 9 : 15)		
	《EventIn システムの簡易説明》(9 : 15 ～ 9 : 20)		
	《一般演題 口演 (3 会場)》(9 : 30 ～ 11 : 30)		
	第 1 会場	第 2 会場	第 3 会場
	《一般演題》 1 ～ 5 (9 : 30 ～ 10 : 22) 臨床化学、免疫血清	《一般演題》 11 ～ 17 (9 : 30 ～ 10 : 42) 医療安全、 病理／細胞診、輸血	《一般演題》 18 ～ 23 (9 : 30 ～ 10 : 32) 生理機能 (1)
10 : 00	《一般演題》 6 ～ 10 (10 : 22 ～ 11 : 14) 微生物、管理・運営、 医療安全		《一般演題》 24 ～ 28 (10 : 32 ～ 11 : 24) 生理機能 (2)
11 : 00			
休憩 (11 : 30 ～ 12 : 00)			
12 : 00	《企業ランチョンセミナー (3 会場)》(12 : 00 ～ 13 : 00)		
	ランチョンセミナー 1	ランチョンセミナー 2	ランチョンセミナー 3
	「血液媒介ウイルス検査と 治療の進歩および暴露対策」 アボットジャパン合同会社	「標準採血法ガイドライン改訂のポイント」 ～採血手技が血液検査値に与える影響～ 積水メディカル株式会社	「心不全パンデミックに備えた NT-proBNP 測定」 ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社
13 : 00	休憩 (13 : 00 ～ 13 : 05)		
	《第50回国臨協関信支部記念学会 特別講演》(13 : 05 ～ 14 : 05)		
	講演：『あらゆる人が尊重される社会を目指して』 (我が国におけるハンセン病対策の歴史と現状) ーハンセン病対策の歴史を正しく理解するためにー		
	講師：北原 誠 先生 オフィス・モト岩波映像プロジェクト エグゼクティブアドバイザー 国立感染症研究所ハンセン病研究センター客員研究員		
14 : 00	休憩 (14 : 05 ～ 14 : 10)		
	《学会企画 国臨協関信支部学術委員会による分科会》(14 : 10 ～ 15 : 10)		
	講演：『皆どうやって出している？ 描出が難しい臓器！ ライブデモンストレーション・腹部超音波検査』 講師：国臨協関信支部学術委員会 生理検査部門		
	休憩 (15 : 10 ～ 15 : 15)		
15 : 00	《閉会式》(15 : 15 ～ 15 : 45)		
	《EventIn 自由閲覧・ログアウト》(～ 16 : 30)		



【展示フロアガイド】(8:30～16:30)

8:30	OB 会	地区会コーナー	企業展示ブース
16:30	50年のあゆみとOB会活動	各地区会および新人紹介	・アボットジャパン合同会社 ・シーメンスヘルスケア・ ダイアグノスティックス株式会社 ・積水メディカル株式会社 ・ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

EventIn 簡易操作マニュアル



■ご利用機器・ブラウザについて

・PCより接続する場合

PC	Chrome	Firefox	Microsoft Edge	Safari	Internet Explorer
Windows	推奨	※1	○	×	×
Mac	推奨	※1	×	△ 画面共有不可	×

・スマートフォン/タブレットより接続する場合

iPhone/ipadはSafariを、Android端末はChromeをご利用ください。イヤフォンは有線をご利用ください。Bluetooth端末は音声に不具合が出ることがございます。

■動作環境の事前確認について

下記URLにアクセスし、利用環境のチェックをお願いいたします。<https://eventin.space/checker>

※必ず当日使用する端末とブラウザ、接続する場所でお試ください。【その他の環境】に2つのチェックマーク（緑色）が表示されていることをご確認ください。

その他環境	
お使いのブラウザは問題なくご利用いただけます。	✓
サーバとの接続に成功しました。	✓
統計情報を聞く	○
お困りの方はこちら「ヘルプセンター」	○

■各テーブルのモード

・トークモード

どなたでもカメラ/マイクをオンにして発言いただけます。（参加時はカメラ/マイクがオフになっています。）



・プレゼンモード

参加者のカメラ/マイクは利用できません。発言する場合は挙手をしてスピーカーにお知らせください。



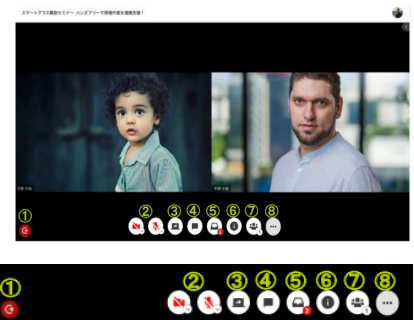
・展示モード

テーブル内の動画/資料を閲覧することが出来ます。マイクのみご利用いただけます。



■テーブルについて

	アイコン名	備考
①	退席	着席していたテーブルのフロアに戻ります。
②	カメラ/マイク	テーブル着席時はカメラ/マイクがオフです。必要に応じてオンにしてください。「バーチャル背景設定」「自映像反転設定」「ノイズ除去設定」をすることができます。※下記の「バーチャル背景の設定方法」を参照してください。
③	画面共有	画面共有が出来ます。※主催者設定により使用できない場合があります。
④	チャット	テーブル内のチャットが開きます。
⑤	資料キャビネット	資料/動画を見ることが出来ます。（テーブル内に設定がない場合は、アイコンがありません）
⑥	インフォメーション	新規着席、お試し視聴の設定ができます。（主催者の設定により、使用できない場合があります。）
⑦	参加者一覧	テーブル参加者一覧を表示します。
⑧	三点メニュー	統計情報が確認できます。映像/音声の乱れが発生した際、通信状況を確認することが出来ます。



動画マニュアルのご用意もございます。



https://www.youtube.com/embed/BI_5ahxI9dI

■開閉パネル

テーブル: 他テーブルへの移動が可能です。

チャット: 下記の3種類のチャットが使用できます。（主催者の設定により使用できない場合があります。）

●全体チャット

●テーブルチャット

●個別チャット

※主催者からのお知らせは、主催者のみが投稿できます。

アンケート: アンケートを投稿する場合に使用します。（主催者の設定により使用できない場合があります。）



参加者: 参加者の一覧を表示します。

(1) 権限での検索:

EventInの権限（主催者、テーブルホスト、参加者、つながり）で検索することができます。

(2) 三点メニュー:

個人チャット開始とつながりリクエスト送信/ダウンロードの場合にご利用ください。

■個人チャットを開始: チャット内容の表示はチャットタブに表示されます。

■個人テーブルに招待: 他の参加者を自分の個人テーブルに招待することができます。

※上記メニューは主催者の設定により使用できない場合があります。



支部長挨拶

国立病院臨床検査技師協会
関信支部 支部長

吉田 茂久



令和4年5月10日（火）を締め切りとしてご提出いただいた「書面における表決」の決議による「第50回国立病院臨床検査技師協会関信支部定期総会」において、役員改選され今年度も支部長を続投させていただくことになりました。

今期で2期目となりますが、気持ちを新たにして支部事業を進めて参りますのでよろしくお願いいたします。

今期は執行部のメンバーの半数が入れ替わり、主任や副臨床検査技師長に昇任して間もない新役員に執行部の一員として会務を経験してもらうことになるため、理事数を3名増員することで当該役員施設の本来業務に支障が無いように分担して会務を持ってもらいます。また新たな試みとして各地区会（10地区会）に原則1名の理事を配することで、会員の皆様方のご意見やご要望を迅速に支部運営に反映するための体制を構築しました。今年度もWEB会議システム（ZoomPro ウェビナー）を活用しながら支部運営の効率化を進めていきたいと考えております。ご協力の程、何卒よろしくお願いいたします。

さて、近年会員数は増加傾向に有り、688人（2021年11月1日付会員調査より）の会員を有しており、過去最高の会員数になりました。近年の傾向としては、特に若い職員の会員数が多くなっているように感じられます。昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大によって、私達を取り巻く環境の変化が激しくなっています。そのため関信支部は各事業を実りあるものとしていくために、しっかりした対応を進めます。事務局では地区会、国臨協本部と技師長協議会、関東信越グループ専門職、国臨協 OB 会関信支部などと連携を密にして、各施設へ迅速な情報提供を心掛けます。学術においては令和4年9月3日（土）「第50回国臨協関信支部学会（記念学会）」が開催されます。学術委員会と協同し、ZoomPro ウェビナーやオンデマンド配信サービスなどを活用して有意義な会にしていけるように準備を進めます。研修会については、学術員会のお力をお借りして、3回（6月、10月、12月）の研修会の開催を予定しております。オンデマンド配信による研修会については、多くの会員の皆様方にご視聴いただけるように、配信期間を3週間に延長しましたのでご活用ください。

広報では「Case study」と「覚えよう身につけよう検査技術！」の充実を図り、資格取得体験談や若手技師の紹介等を引き続き掲載して若手技師への情報の一助となるよう努め、会員の皆様方から愛される紙面づくりを心掛けてまいりますので、是非、お手に取ってご覧ください。ホームページ関連では、令和3年度 HP 総ページアクセス数は60,757件（R2年度：44,664件）、総アクセス人数は20,416人（R2年度：15,042人）となり、前年度を大きく上回るご利用をいただくことができました。引き続き利用しやすい環境の整備と会員の皆様方の活動を迅速に情報提供していけるように努力してまいります。また、新たに“会員の皆様方からの声”を投稿するコーナーの設置を検討しております。よりよい支部運営を行っていくために、皆様の貴重なお声・ご意見をお聞かせください。

令和4年度も国臨協本部、技師長協議会、関東信越グループ専門職、地区会等と協力し、会員皆様方のお役に立てるよう尽力してまいります。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

第1回 国臨協関信支部主催研修会

講師
comment

メンタルヘルスについて—医療現場で健康的に働くために—



国立精神・神経医療研究センター病院

川原 可奈

コロナ禍においては、感染対策のための業務負担の急増や医療現場特有の感染不安など、医療者の多重ストレスが懸念されています。今回の研修会では、これまで心理療法士として医療者を含む働く人のメンタルヘルス支援を行ってきた経験をもとに、コロナ禍において知っておくよいメンタルヘルス対策のポイントについて発表しました。

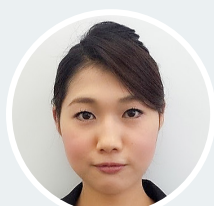
ストレスによる体調悪化を早めに防ぐためのメンタルヘルス対策として、4つのケアを紹介しました。今回の研修会では、4つのケアのうち「セルフケア」と「部署内のラインケア」の2つを取り上げました。

早めのセルフケアによって体調を維持していくためには、対処行動の選択肢を多く持つことがとても大切です。体調に合わせて、無理のない効果的なセルフケアを選択できるよう備えておくことをお勧めします。研修会では、セルフケアの効果をより高めるためのマインドフルネスを紹介しました。リフレッシュしているつもりなのに、頭では仕事のことを考えてしまい気が休まらない、という経験はありませんか？ストレスから程よい距離をとって、「今、ここ」に十分に注意を向けて過ごすことで、気持ちが落ち着きリフレッシュ効果を高めることにつながるかもしれません。いつもの食事をじっくり味わって食べる、体の動きや感覚に十分に気づきながらストレッチをする、といった工夫をお勧めします。

メンタル不調者がいた場合に、それを職員一個人の問題と捉えるのではなく、部署が考えるべき問題と捉えるという視点はとても大事です。部署内で環境改善や相談体制を見直して、職員のメンタルヘルスを支えるのがラインケアです。コロナ禍においては、休憩中の黙食を例にコミュニケーションをとりにくい職場状況でもあります。これまで以上に、部署内の縦／横のつながり両面から、気遣いの声かけなどコミュニケーションが行き届く風通しの良い体制づくりを検討していくことが重要です。

研修会の最後に、当院の臨床心理室が実施しているメンタル不調予防のためのオンライン・カウンセリングを紹介しました。今回の研修内容が、皆様の with コロナの仕事・生活に少しでも役立つことを願います。

医療現場における接遇について



ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

山浦 諒子

身だしなみ、あいさつ、敬語、電話応対などのマナーで相手の印象が変わった経験はないでしょうか。社会人にとってビジネスマナーの習得は基本中の基本であり、仕事を円滑に進めるためには欠かせないものです。一方で「ビジネスマナーの重要性はわかっているけど、それが実践できているか不安」という方も少なくありません。今年就職し新しく病院に配属された方を対象として、基本的な医療現場における接遇について講演いたします。学生ではなく『社会人』としての意識を身に着け実践につなげられるサポートができればと考えています。

内容としては身だしなみや表情、あいさつ、敬語、名刺交換、電話応対、来客対応など、ビジネスマナーのポイントを確認していきます。どの要素も「できて当たり前」と思われるものばかりですが、なかには、苦手意識のあるものや意外とできていないものもあるかもしれません。ビジネスマナーを身につけて実践できるようになるためには、マナーの「型」を覚えるだけでは不十分です。目の前の相手に対して、どのような態度や表情、言葉遣いで接するべきかを考えられる判断軸をおさえる必要があります。「なぜこの行動（マナー）が必要か」を考え、ビジネスマナーの意味・基本の考え方を学ぶことで、研修受講後も自分自身で状況に応じた判断、行動ができるようになることが期待できます。

また、明日から実践できる「現場で使えるテクニック」を具体的な言葉選びなどの例を用いてご紹介しています。自身の現状を客観的に振り返り、意識と行動を改める機会にいただければ幸いです。

第1回 国臨協関信支部主催研修会

参加者
comment

第1回国臨協関信支部主催研修会に参加して



国立国際医療研究センター病院 長澤 銀河

令和4年6月6日（月）～24日（金）の期間で、令和4年度第1回国臨協関信支部主催研修会がオンデマンド配信にて開催されました。紫陽花の花が日ごとの長雨に色づいている中で本研修会は「コロナ禍に負けない心のケアと接遇の向上」をテーマとし、講師に第1部は国立精神・神経医療研究センター 臨床心理部 川原可奈先生、第2部はロシュ・ダイアグノスティックス株式会社 山浦諒子先生による講演が行われました。

第1部ではコロナ禍による医療従事者の多重ストレスが社会的に問題視されている中で、ストレス緩和に向けた具体的な対策についてご紹介いただきました。自身の変化に気づき、早めのメンテナンスを行うセルフケアや孤立させない職場環境を作るラインケアなど多様な観点からのメンタルヘルスケアを学び、大変参考になりました。

第2部では医療接遇について、社会人としての自覚や円滑なコミュニケーションをとるための適切な行動、言葉遣いなどを解説していただきました。挨拶や身だしなみに限らず、相手の状態を把握した主体的行動が良好な関係を築き上げるのではないかと感じました。私自身、外来採血室に所属しており、患者に対して侵襲的な医療行為を行う機会が多いため、非常に興味深く拝聴しました。

今回の研修会に参加し、医療のプロフェッショナルとしての技術や知識などを最大限に発揮したサービスを提供するには医療従事者のケアも重要だと改めて実感しました。加えて、通常の接遇マナーとは異なる患者の立場を把握して対応する医療接遇により、更なるサービスの向上および医療安全に繋がることを再認識しました。

最後になりますが、ご多忙の中ご講演いただきました先生方、ならびに企画・運営いただきました国臨協関信支部役員の皆様に厚く御礼を申し上げます。



NHO 横浜医療センター 山口 有希

今回の講演は、コロナ禍を過ごしてきた私たちには身近に考えて欲しい内容だったのではないかと思います。個々で差はありますが、コロナ禍がメンタル的な負担の一つになっていることは確実で、許容量ギリギリになっている人や、既に許容量を超え不調をきたしているスタッフも多くいるのではないのでしょうか。

かく言う私は、コロナ禍以前でしたがパニック障害を発症し3年間休職しました。正直、今でもストレス許容量を超えた決定的な要因は分かりません。それこそ、体調が優れないと感じつつも発症する直前まで、このような病は自分には関係ない、自分はメンタルが強いから大丈夫と思っていたくらいです。

休職して最初の1年は、ただ家にいるだけであまり回復できず、1年を過ぎた頃から頭の中が休めていないことに気づきました。そこでやっと当たり前のセルフケアを試し始めたような気がします。私が試したセルフケアも、今回のご講演でお話頂いた“いつもの自分”を知っておく、早めのメンテといった内容と合致する点が多かったです。今でも日々心に留めて実践することで体調を保っています。

そろそろ復職から1年半が経ちます。正直、3年休んだ時点で社会復帰できるとは思っていませんでした。現場の仲間によって施されている部署内ラインケア、気遣い・声かけに助けられ、私は働いています。そして、日頃から自分の体調に目を向け、少しでも違和感を感じたら早めにメンテナンスをする、という当たり前のことが医療現場で健康的に働いていくためにはとても重要だと考えています。

過度のセルフケアに対し、自分には関係ない、自分はメンタルが強いから大丈夫という姿勢の方が多いかもかもしれません。それでも、自分の体調に目を向けたり、家庭や職場での何気ない声かけなどが広まるといいなと思っています。

令和4年度医療技術職員等 新採用職員研修に参加して



NHO 久里浜医療センター
足立 裕美

令和4年5月18日～20日に医療技術職員等新採用職員研修・新採用事務職員研修がWebex配信により開催され、参加させていただきました。

1日目の午前は国立病院機構に関してや服務、勤務時間や休暇に関して参事（人事担当）の方や労務係長により、午後は接遇研修を外部講師の方よりご講演をいただきました。特に接遇研修ではワークシートに記入したり、実際に声に出したりと実践することで身につけやすく、大変勉強になりました。

2日目の午前は新採用職員として必要なことについて10職種の先輩方から提言していただきました。各職種の具体的な業務について、新採用職員へのアドバイスとしてストレスマネジメントについて、また新人としての心構えについて助言していただいたことでモチベーションが向上し、これからも一層仕事に励んでいきたいと感じました。

2日目の午後以降からの班別討議では2つのテーマについて話し合い、その後発表と質疑応答を行いました。

この3日間の研修を通して、社会人としてのビジネスマナーや他職種に関する理解が深まりました。班別討議では様々な職種の方々と意見交換ができ、私は発表者としての役割を果たすという貴重な経験をさせていただきました。また当センターの職員だけでなく全国にある病院やセンターの職員とともに、医療に携わっていくということを改めて認識しました。今後は機構の職員の一人として責任をもって業務に勤しんでいきたいと思えます。

最後になりますが、ご多忙中ご講演いただきました担当の方、外部講師の方、各職種の先輩方、ならびにこの研修会を開催・運営していただきました関東信越グループの皆様には厚く御礼申し上げます。



NHO 信州上田医療センター
橋本 実希

令和4年5月18、19日に「令和4年度 医療技術職員等新採用職員研修・新採用事務職員研修」がWeb形式で開催されました。今回の研修は、講義形式とグループワーク形式で行われました。

講義研修では、「国立病院機構の役割」、「労務管理関連」、外部講師による「接遇研修及びストレスマネジメントとメンタルヘルス」、先輩方から「新採用職員として必要なこと」について講義していただきました。今後、国立病院機構で働く上で理解しておくべきことから、社会人としてのマナーやストレスとの向き合い方を学び、医療従事者である前に一社会人として恥じぬよう、マナーを再確認することができました。また、各職種の先輩方からの講義では、これから働く上での心構えだけでなく、他職種の業務についても知見を得ることができ、今後の業務にも活かせる内容でありました。

グループワーク研修では、職種年齢関係なくグループに分かれて討議を行いました。私のグループは、「社会人におすすめしたい習い事」、「新しい祝日をつくるとしたら」について討議しました。討議のテーマが面白く、様々な意見や質問が述べられ有意義なグループワークとなりました。このグループワークを通じて一人ひとりの考えが異なることに気づき、これは私が配属された生理検査室などの対人業務を行う上でも、心掛けなければならない大切なことだと強く感じました。

短い期間の研修でしたが、内容はとても充実しており、今回の講義で学んだこと、グループワークの討議で感じたことを日々の業務に役立て取り組んでいきたいと思えます。

最後に、ご多忙中ご講義いただきました講師、先輩方ならびに企画・運営して下さいました関東信越グループの皆様には心より感謝申し上げます。

新理事紹介



新理事に聞きました！
10の質問

- ① 支部での担当
- ② 担当部署
- ③ 出身地
- ④ 今年何目？
- ⑤ 地元の特産品は？
- ⑥ 趣味
- ⑦ 好きな食べ物
- ⑧ 最近嬉しかったこと
- ⑨ 今欲しいもの
- ⑩ 最後にひとこと

今年度は全 10 地区より理事が選出されております。
地区会との連携をより一層深めていきますので、
今年度もよろしくお願いいたします。

NHO 沼田病院



鷹取 有紀
理事

① 広報 ② 生理検査・細菌検査 ③ 群馬県 ④ 7 年目
⑤ 焼きまんじゅうと登利平 ⑥ パン屋さん巡りがマイブーム
です。⑦ たこ焼き ⑧ 車の走行距離のキリのいい数字をちょう
ど見られたこと ⑨ タブレット端末 ⑩ 支部ニュースをはじ
めとして、様々な情報を会員の皆様に提供できるよう努めて
いきます。よろしくお願いいたします。

NHO 東長野病院



齋藤 広樹
副支部長

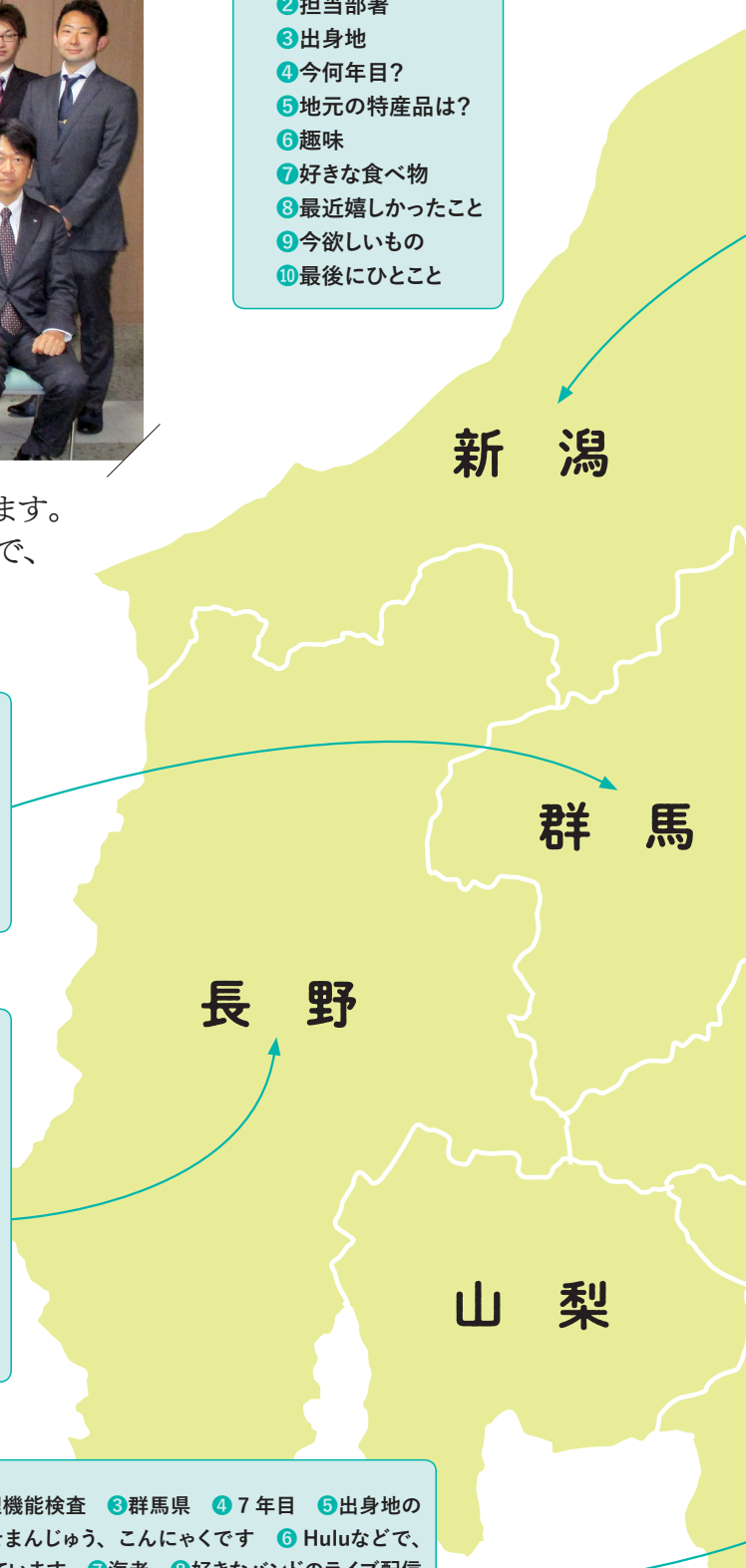
① 副支部長(広報・HP) ② 管理・全般 ③ 神奈川県 ④ も
うすぐ 30 年になるみたい ⑤ リンゴかな。秋には赤いリン
ゴが実っているところをよく見かけました ⑥ 長野に来て野
球してます ⑦ 米かな ⑧ 暖かくなってきたこと ⑨ カツカ
レーが食べたい ⑩ 関信支部は研修会や学会、他にも様々
な行事に参加させていただき、国立病院機構内施設間での
一番身近な交流ができる場だと思っています。今回、理事
となり運営する立場になりますので、関信支部が会員の皆
様に少しでも活用していただけるよう務めていきたいと思っ
ておりますのでどうぞよろしくお願いします。

NHO 横浜医療センター



安中 未華
理事

① 会計 ② 生理機能検査 ③ 群馬県 ④ 7 年目 ⑤ 出身地の
特産品は、みそまんじゅう、こんにゃくです ⑥ Huluなどで、
動画を観たりしています ⑦ 海老 ⑧ 好きなバンドのライブ配信
があり、家で観ることができたことです ⑨ 魚介類の美味しいと
ころに行き、魚介を食べたいです ⑩ まだわからない事のほう
が多いのですが、これからどうぞよろしくお願いいたします。



令和4年度役員一覧

役職名	氏名	施設名	所属地区会名
支 部 長	吉田 茂久	NHO 横浜医療センター	神 奈 川 地 区 会
副支部長	椎名 将昭	NHO 水戸医療センター	茨 城 地 区 会
副支部長	齋藤 広樹	NHO 東長野病院	長 野 地 区 会
事務局長	梅戸 克之	NHO 信州上田医療センター	長 野 地 区 会
理 事	秋山 卓思	NHO 栃木医療センター	栃 木 地 区 会
理 事	安中 未華	NHO 横浜医療センター	神 奈 川 地 区 会
理 事	飯田 伊織	NHO 西埼玉中央病院	埼 玉 地 区 会
理 事	井田 貴明	NHO 相模原病院	神 奈 川 地 区 会
理 事	市川 遼	国立国際医療研究センター国府台病院	千 葉 地 区 会
理 事	鷹取 有紀	NHO 沼田病院	群 馬 地 区 会
理 事	竹内 智也	NHO 東京医療センター	東 京・山梨地区会
理 事	千木良浩志	国立がん研究センター中央病院	東 京 地 区 会
理 事	中村 良幸	NHO 西新潟中央病院	新 潟 地 区 会
理 事	山口 卓哉	NHO 東京病院	東 京 地 区 会
理 事	渡辺 順也	国立国際医療研究センター病院	東 京・山梨地区会
監 事	小沼 進吉	NHO 東埼玉病院	埼 玉 地 区 会
監 事	瀬下 明子	NHO 高崎総合医療センター	群 馬 地 区 会

NHO 西新潟中央病院



中村 良幸
理事

①事務局 ②生理検査 ③神奈川県
④27年目 ⑤※ ⑥学会や研修会等の参加だけで、47都道府県制覇を目指すこと。⑦トウモロコシ ⑧久しぶりに現地開催の学会に参加できたこと ⑨時間 ⑩国臨協関信支部には、学会や研修会等でお世話になってきました。この機会に何か恩返しができればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

NHO 栃木医療センター



秋山 卓思
理事

①学術 ②検体検査 ③栃木県 ④8年目 ⑤いちご、レモン牛乳 ⑥旅行 ⑦雪見だいふく ⑧親友に赤ちゃんが産まれました ⑨ドローン ⑩私なりに、頑張らせていただきますので、よろしくお願い致します。

NHO 西埼玉中央病院



飯田 伊織
理事

①広報 ②検体検査全般 ③茨城県 ④5年目 ⑤蓮根・メロン ⑥フリスビー・ダーツ ⑦ラーメン ⑧妻の妊娠がわかったこと ⑨ベビーカー・チャイルドシート ⑩若輩者ですが精一杯頑張ります。

国立がん研究センター中央病院



千木良 浩志
理事

①学術 ②遺伝子検査 ③神奈川県 ④10年目 ⑤つめたくてもおいしい崎陽軒のシュウマイ ⑥キャンプ ⑦カレー ⑧新500円硬貨をみつけたこと ⑨テントサウナ ⑩国立病院臨床検査技師協会関信支部の発展と会員の皆様が積極的に参加していただけるような支部活動を目指し、一生懸命取り組まさせていただきます。よろしくお願いいたします。

NHO 東京病院



山口 卓哉
理事

①学術 ②細菌検査、遺伝子検査 ③神奈川県 ④15年目 ⑤特産品ではないですが、自然が豊かです ⑥食を食べること、寝ること ⑦ラーメン ⑧車を乗り換えた ⑨エアコン ⑩至らぬ点多々あるとかと存じますが、円滑な会務運営及び会員の皆様へ貢献できるよう微力ながら尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

国立国際医療研究センター病院



渡辺 順也
理事

①広報 ②生理検査 ③栃木県宇都宮市 ④5年目 ⑤餃子 ⑥音楽を聴くこと ⑦餃子 ⑧スワローズが交流戦優勝したこと ⑨アップルウォッチ ⑩広報担当として、会員の皆様に役立つ情報を届けていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

目指そう! 認定資格で LEVEL UP



認定血液検査技師を取得して

NHO 千葉医療センター
中田 雄大



2021 年 11 月に実施された第 19 回認定血液検査技師試験を受験し、合格することができました。

非常勤検査技師として災害医療センターにて勤めていたころ、血液検査部門の先輩から日本検査血液学会への入会を勧められたことが資格の取得を目指したきっかけです。

2018 年、千葉医療センターに採用となり、当时的上司に血液検査に携わっていきたくと相談した結果、午前中は血液検査をメインとした検体検査業務、午後は病理検査業務に配属となりました。その後、現在まで、検体検査システムのマスタ管理や新型コロナウイルス PCR 検査にも携わりつつ、検体検査業務をメインに行っていました。技師歴が 5 年目に突入した昨年、いつの間にか受験資格もすべて満たした状況となり、ふだん血液検査に従事している中で自分が今どこまでできるのかを客観的に把握したいという思いもあり、受験しました。

試験の概要としては、専門知識試験：多肢選択形式 50 問、細胞識別試験：50 問、症例解析試験：末梢血および骨髄血各 3 問の 3 部構成となっています。なお、専門知識試験は臨床検査技師国家試験と同一の形式です。

受験の際に役立つ本として、日本検査血液学会出版のスタンダード検査血液学（最新第 4 版）に過去問が載っています。しかし、専門性の高い問題が多数出題されるため、あくまで参考程度に考えていただき、しっかりとテキストを読み込まないと後悔することになります。

細胞識別試験は、試験を受けるほどのキャリアがある方であれば全く問題ありません。正常細胞と典型的な異常細胞が出題されますが、専門知識・症例解析試験より難易度は低くなっています。

症例解析試験は写真 + α の情報から得られる所見と類推される病名を記載し、さらに追加検査と

想定される結果を回答する必要があります。特に分類等が明確に分かれているメジャーな疾患（AML、MDS、悪性リンパ腫など）は病型まで答えを求められます。形態学だけでなく診断基準もある程度は抑えておく必要があり、きわめて難易度が高く、実践力・総合力が求められる問題となっています。

実際に私が行った試験対策についてですが、これから受験される方は絶対に真似しないでください。過去問の解説と指定研修会の資料を 3 日間ひたすら何回も目を通しました。それだけです（笑）。実際に受験を予定している方は最低でも半年は時間をかけて、テキストを丁寧に読みこむべきだと思います。

試験を受けて感じたことは、日々の業務や研修会の中で得てきた知識・経験が非常に生かされたということです。専門知識試験では過去問で見覚えのある問題は少なくあまりあてになりませんでした。しかし、日常的に見てきた細胞表面マーカーや染色体検査の結果、研修会で学んだ悪性リンパ腫の各特徴などのおかげで解けた問題がいくつかありました。特に、症例解析問題では骨髄検査の報告書を普段から作成してきたおかげで、所見の書き方や押さえておくべき重要なポイント、MDS の分類なども把握できていたことが非常に大きいと感じました。

正直、認定血液検査技師試験に 1 回で合格できるとは思っていませんでした。しかし、合格できたことで自分の知識に自信が持てるようになり、後輩や学生の指導にも今まで以上に力を入れて取り組むことができているかと思います。

最後になりますが、自分がここまで成長することができたのは、これまでご指導くださいました多くの諸先輩方のおかげです。この場をお借りして深く感謝申し上げます。

会員のひろば

NHO 東埼玉病院
飯島 健太



東埼玉病院の飯島健太と申します。

私の趣味は、昆虫観察です。子供の頃から虫が好きで、図鑑はボロボロになる程読み返しました。また、庭の敷石や縁石をひっくり返しては、石の裏や露出した土に蠢く虫を見つけ、次はどんな虫が姿を現すのだろう？と、宝箱を開けるかのようなワクワクした気持ちになったのを覚えています。

今回はそんな私が特に好きな昆虫の一つである、幸せの虫とも呼ばれるテントウムシについてお話し致します。まず、はじめにテントウムシはコウチュウ目テントウムシ科に分類されます。名前の由来は、太陽に向かって飛び立つ習性があることから「天道虫」テントウムシとなりました。実際に捕まえて人差し指を上に向けると、指先までトコトコ歩き羽を広げて飛ぶ姿はとても可愛らしく感じます。これが好きな理由の一つです。もし、皆さんも見つけたらやってみてください。ただし、やさしく捕まえてください。昔、庭にユキヤナギの木があり、そこに来るテントウムシを捕まえて観察していました。子供だったので、摘むように少々乱暴に捕獲していたと思います。すると、手のひらや指先に黄色い液体が付いているのに気がつきました。これは何だろう？と思い、好奇心から舐めてみたところ、ものすごく苦かったことを覚えています。

さて、この黄色い液体の正体は何だと思えますか？なぜ舐めたのか？は置いておいてください。当時は、インターネットなんて便利なものはなかったので、近くの図書館で調べた結果、なんとこの黄色い液体はテントウムシの血液なのだそうです。テントウムシは、外敵から襲われると、足の関節などから血液を分泌し身を守るそうです。私自身、身をもって知りましたが、あれだけ苦ければ捕食者も怯むと思います。

テントウムシが好きなもう一つの理由は、お洒落な外見と益虫としての仕事ぶりがあります。テントウムシの模様は様々あり、星の数は2個、4個、7個、10個、13個、なんと28個

のものまでいます。さらに亀の甲羅模様、星が白色のもの、見つけたら幸運になると言われる黄色いテントウムシもいます。

益虫としての仕事ですが、主に農作物の新芽などに寄生し、養分を吸う厄介者であるアブラムシを主食とし、食べてくれるところなんです。我が家の家庭菜園でもたびたびお世話になっています。通常、アブラムシの駆除には農薬が一般的ですが、農作物に残留するものもあるため、収穫の数週間前までに使用を制限しなければなりません。そこで、テントウムシの出番です。我が家につくきアブラムシは、テントウムシを数匹連れてくるだけで、翌日にはほとんど姿を消していました。もし、やってみようと思われた方がいましたら、幼虫を連れてくることをお勧め致します。理由は、成虫だと飛ぶ可能性があるためです。何より連れてきた幼虫が、蛹になり、羽化する姿を見たらテントウムシに愛着がわくこと間違いなしだと思います。ただし、28個も星を持つニジュウヤホシテントウは、害虫で逆に農作物の葉を穴だらけにしてしまいます。テントウムシの世界でも悪さをする種もいるんです。

自慢になりますが、今までキイロテントウを2度見つけたことがあります。小ぶりでも可愛いテントウムシで、私はそれだけで幸せになりました。

会員のどなたとも共感できない趣味の話を経々致しましたがご容赦ください。最後に、幼虫はなかなかグロテスクなので、少しでも興味を持たれた方がおられましたら調べてみてください。因みに、幼虫も危険を感じると体から黄色い血液を分泌するので、私は時々、貧血にならないか心配になります。

今回、このような機会を与えていただき、関信支部役員の皆様に御礼申し上げます。





True or False

○×クイズ ～採血編～

解答・解説は関信支部 HP に掲載いたします。

Question

- ☐ 撓側皮静脈で採血を行えば、神経損傷のリスクを防ぐことができる
- ☐ 血管が細いため、グーパーグーパー繰り返し、血管を怒張させる
- ☐ 採血中、患者に気分不快・冷汗が生じたため、採血途中だが採血を中止した
- ☐ 採血針の穿刺角度は 45 度が適している
- ☐ 採血手技によって検査結果に影響を与えることはない

True

False



ご質問は関信支部までご連絡ください
Mail:kanshin@kanshinshibu.org

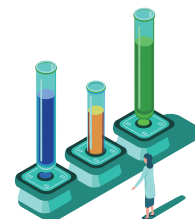
参考資料
・標準採血法ガイドライン (GP4-A3)

令和4年度春の叙勲受章

元 国立病院東京医療センター臨床検査技師長 宮野勝秋（みやのかつあき）氏が令和4年度「春の叙勲」にて「瑞宝双光章」を受賞されました。保健衛生の仕事に長年従事され、そのご功労が認められましたことは関信支部としても大変名誉なことです。この度の受賞に際し、心よりお祝い申し上げます。



関信支部HP



お詫びと訂正

関信支部ニュース 228 号（4 月発行）におきまして、内容に一部誤りがございました。

12 ページ「覚えよう 身につけよう 検査技術！」Case3、4 の表の記載につきまして、“6 週陽性”の記載がございましたが、全て“6 週陰性”の誤りでした。

いただいた原稿を紙面に起こした際に記載が変換されてしまいました。執筆者の小川様ならびに会員の皆様には多大なるご迷惑をお掛けしますことを、深くお詫びいたすとともに、謹んで訂正させていただきます。

編集後記

うだるような暑さが続いておりますが、皆さま体調など崩されてはおりませんでしょうか？

さて、今号から新規体制での発行となりました支部ニュースはいかがだったでしょうか。

本年度より各地区会から 1 名ずつ理事が選出されたことにより、人数が増えパワーアップしております。ますます精力的に活動してまいりますので何卒よろしくお願い申し上げます。

来たる 9 月 3 日には、第 50 回記念の関信支部学会が Web 配信ツール EventIn を用いて開催されます。デモンストレーションに参加しましたが、学会会場が Web 上にあり複数のブースから自分が聞きたい発表に参加するという、あたかも現地で開催されている学会に参加しているような感覚でした。皆さまも是非参加していただき、新時代の学会の形を体感してください。

暑さも今が峠です。どうぞお身体を大事にお過ごしください。よろしくお願いいたします。

広報飯田